

私たちは、地域の相談パートナー

人権擁護委員 vol.13

人権擁護委員に関する
お問い合わせは
熊本地方法務局宇土支局
☎0964-22-0320
人権の電話相談は
みんなの人権110番
☎0570-003-110

《世界人権宣言70周年》
みんなで築こう人権の世紀
～考えよう相手の気持ち
未来へつなげよう
違いを認め合う心～



(熊本県人権擁護委員連合会啓発テーマ) 人権イメージキャラクター 人KENまもる君 KENあゆみちゃん

**一人で悩まないで
人権相談**

人権相談は、常設・特設の会場で受け付けています。人権擁護委員が、日常生活の中の困り事について話を伺い、皆さんの人権を守るために必要な助言をしたり、関係機関や法テラスなどに相談するといった解決の手助けをしています。

相談内容は、差別、私的制裁、いじめ、体罰、虐待、家庭内暴力、セクシュアルハラスメント、ストーカー、近隣とのめ事など幅広い相談を受けています。

◎夫婦関係がうまくいっていないので、離婚について相談したい
◎遺言書を作成したい
◎隣家との境界争いで困っている
相談は無料で、相談内容の秘密は厳守されます。

常設相談所
とき 月・水・金曜の9～16時
ところ 熊本地方法務局宇土支局

1月の特設相談
とき 1月15日(火) 13～16時
ところ 豊野公民館

委員	横尾 古賀
----	-------

人権擁護委員の活動

毎月1回、市内の仮設住宅で開く「どきちゃん会」のお茶会・ゲームなどに参加し、困ったことがあれば相談を受ける「寄り添い支援活動」を行っています。

全国中学人権作文コンテスト県大会
優秀賞に中川桜華さん(不知火中)、奨励賞に藤岡蓮さん(小川中)、浦中伊織さん(松橋西支援)に宇土協議会奨励賞が贈られました。

平成30年度人権フェスタinうきし
今年も市内5会場で人権フェスタが開催されました。人権擁護委員による活動報告や、人権ビデオの鑑賞、紙芝居などを行いました。

11月28日 人権の花運動終了式
青海小で、人権の花運動終了式が行われました。この運動は、児童がお互いに協力しながら花を栽培することで児童の情操を豊かにし、命の大切さや相手の立場を考えることなど基本的な人権尊重の精神を身に付けることを目的として行われています。



人KENまもる君と一緒に終了式を行いました

地域と共に歩む 高校・支援学校 vol.17

松橋高校 小川工業高校 松橋支援学校 松橋西支援学校 松橋東支援学校

ロードクリーンボランティア

松橋西支援学校



16年目の「ロードクリーンボランティア」

本校では毎月1回、松橋8区の皆さんと「ロードクリーンボランティア事業」で地域の清掃活動や花壇の花植えを行っています。この活動を通して多くの方々と交流を行うことができました。これからも、地域に根差した学校を目指し続けます。**県教職員ハンドボール大会 3位!**

県教職員ハンドボール大会が11月24・25日に行われました。昨年は最上位のAパートで見事初優勝。今年も堅守を武器に接戦を勝ち進みました。準決勝で強豪水俣高校に惜敗し、3位という結果でしたが、上位に名を残すことができました。**宇土シティモール販売実習会**
日程 中学部 2月2日(土) 10時～14時
高等部 9日(土) 10時～13時
お問い合わせ 松橋西支援学校 ☎33-2797

各校の行事予定 1/1～2/10

- ◆ 1月4日(金) 仕事始め「5校」
- ◆ 7日(月) 幼稚部募集要項交付「松橋東支援」
- ◆ 8日(火) 3学期始業式「5校」
- ◆ 9日(水) 12日(土) 修学旅行(1年)「小川工高」
- ◆ 11日(金) ロードクリーン「松橋西支援」
- ◆ 13日(日) 成人の集い「松橋支援」
- ◆ 17日(木) 宇城学校人権研究会「5校」
- ◆ 23日(水) 28日(月) 3年学年末考査「松橋高」
- ◆ 31日(木) 2月1日(金) 高等部専門学科入学者選抜検査「松橋支援」
- ◆ 2月1日(金) 前期(特色)選抜「松橋高・小川工高」
- ◆ 2日(土)・9日(土) 中学部販売実習会(宇土シティモール)「松橋西支援」
- ◆ 7日(木) ロードクリーン「松橋西支援」
- ◆ 9日(土) 高等部販売実習会(宇土シティモール)「松橋西支援」

10/4～5 中学部修学旅行



松橋東支援学校

出合いがたっぷりの修学旅行

中学部の生徒2人が、10月4・5日に広島に修学旅行に行きました。新幹線やフェリーなどの交通機関を利用して、宮島や平和記念公園、マツダスタジアムを訪れました。1年の男子生徒は、「宮島の大鳥居を見ることができてうれしかったです。いい思い出になりました」と作文を書きました。また、3年の女子生徒は、戦争の悲惨さを目の当たりにすることに耐えられないのではないかと、不安な気持ちを抱いていましたが、「今は行ってよかったと思っています。折り鶴や、ひどいやけどを負った写真を見ることができました」と壁新聞に記しました。旅先で多くの外国人観光客を目にしたり、名物を食したりするなど、人や文化との出合いたっぷりの旅となりました。